

エッジプラットフォームコンソーシアム

趣旨

IoT 時代の到来を目前にして、IoT 関連技術の「普及」を加速し、「超スマート社会」を実現するための施策が求められています。事業現場では、IoT システムの導入が進みつつありますが、多種多様な要求に対して簡易・安価に対応するのが難しい、セキュリティ、リアルタイム性、消費エネルギー的な観点で対応すべき課題が種々ある等のため普及・浸透していないのが現状ではないでしょうか？これら課題解決のためには、IoT 導入現場での実用的・経済的な効果を最大化する「IoT システムを構成するコンポーネント」と「アプリ開発連携環境」の要件・仕様をプラットフォームとして定義することが必要となります。さらに、クラウドへの依存が少ないエッジ(自立分散型)処理を主体とするシステムを構築することが重要となります。これら活動を効果的に進めるために事業現場(ニーズ)とコンポーネント開発、システム・アプリ開発を担う(シーズ)企業群が協働するエッジプラットフォームコンソーシアムを設立します。

目的と期待される効果

コンソーシアムでは、クラウドシステムによる IoT システム構築を俯瞰しつつ事業現場の各種課題を解決する次世代エッジシステムの基盤となる「エッジプラットフォーム」の要件を定義・構築します。これにより、シーズ側企業は、多様な事業現場の課題解決に供するエッジシステムを構成するコンポーネントの横展開が容易になります。ニーズ側企業は、事業現場への実用的な「次世代エッジシステム」の導入拡大が容易になります。



エッジプラットフォームのイメージ

活動内容

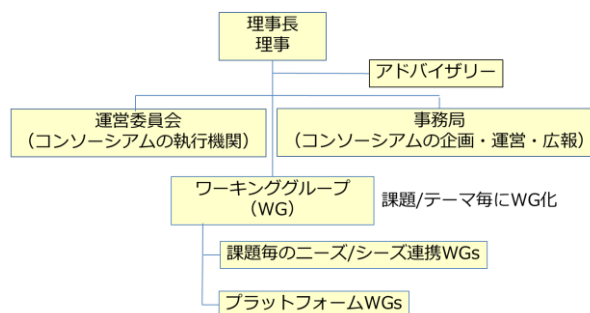
コンソーシアムでは、以下の活動を予定しています。

- ・ 事業現場のニーズと課題を解決するシーズ技術のマッチング
- ・ 次世代エッジシステムの基本要件(ハード・ソフト)の定義
- ・ 次世代エッジプラットフォームの要件定義、構築
- ・ レファレンスモデルによる動作・効果検証
- ・ 産官学連携プロジェクトへの提案
- ・ エッジシステムの導入事例、先進技術の情報共有を目的とした活動報告会
- ・ IoT 普及に向けた施策提言の策定・発信

組織と運営

コンソーシアムでは、課題毎のワーキンググループ(WG)とプラットフォーム WG を設け以下の活動を行います。

- ・ 課題毎の WG では、ニーズ/シーズそれぞれの課題・要件を整理し、事業テーマ毎にニーズ企業とシーズ企業のマッチングを行い WG を設置し、エッジシステムの要件定義、レファレンスモデルを用いた実証試験による効果検証を行います。
- ・ プラットフォーム WG は、課題毎の WG からのプラットフォームに対する要求仕様を元にエッジプラットフォームとして備えるべき要件を定義します。



会員・会費

- ・ 一般会員：IoT の導入を目指す企業あるいはIoT システム/コンポーネントを供給する企業
- ・ 賛助会員：当活動に賛同頂ける学术界などの個人・団体など。
- ・ 別途、WG 参加費として10,000 円/人・年

年会費	
一般会員 大企業 *資本金5億円以上	100,000円/半年
中小企業 *資本金5億円未満	20,000円/半年
賛助会員 *活動に賛同する学术界などの個人・団体	0円/半年

提供されるサービス

- ・ 活動報告会、有識者によるシンポジウム講演会、技術セミナー
- ・ 活動概要報告、調査報告書など

事務局・連絡先

株式会社デバイス&システム・プラットフォーム開発センター
エッジプラットフォームコンソーシアム事務局

E-mail: epc-staff@dsp-c.co.jp、TEL: 044-201-9030